

認知科学

選 択

開講年次：2 年次前期

科目区分：講 義

単 位：2 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：モノ・空間・社会の切り口からヒトの心と行動の特性を知ることが本科目のねらいです。また、哲学の思索と対比しながら科学としてどのようにヒトの心を解明できるのか考察し、デザイン基礎となる認知科学の具体的概念を理解することを目指します。

■**到達目標**：①認知科学の基礎的な知識を身につける
②認知科学の基礎的な知識に基づいてデザインを企画できる
③認知科学の基礎的な知識に基づいてデザインを評価できる

■**担当教員**：

片山 めぐみ

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 オリエンテーション：授業の概要と内容紹介
第 2 回 認知科学とは何か：主観・客観の理解の歴史、認知科学とデザインの関係
第 3 回 モノと心：①五官と五感
第 4 回 ②視覚のしくみ
第 5 回 ③ヒトの知覚特性を利用したデザイン
第 6 回 ④ヒューマンエラーとヒューマンインターフェース
第 7 回 ⑤選択の科学
第 8 回 空間と心：①都市のイメージと認知地図
第 9 回 ②空間移動と心理的距離
第10回 ③パーソナルスペースとテリトリアリティ
第11回 ④住居と公共空間の環境心理
第12回 ⑤観る者を含む景観デザイン
第13回 社会と心：①評価の個人差とデザインターゲット
第14回 ②高齢者と障害者の環境
第15回 授業のまとめ

■**教科書**：授業時にハンドアウトを配布します

■**参考文献**：「誰のためのデザイン」、D.A.ノーマン著、新曜社
「認知科学一心の働きをさぐる」、村田厚生、朝倉書店
「人間環境学—よりよい環境デザインへ」、日本建築学会編、朝倉書店

■**成績評価基準と方法**：授業態度や発表などの授業への参加度（50%）、授業内レポートおよび小テスト（50%）によって評価する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
授業内レポート・小テスト	◎	◎		各回のポイントを理解していること。	50
授業態度・発表		◎	◎	積極的な姿勢。	50
出席				2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：製品・空間・コンテンツ・メディアの各デザインコースに関連する基礎的な認知科学の概念を解説します。講義では認知科学の理論だけにかたよらず、身近なデザイン事例にも言及します。また一方の講義にならないよう、簡単な実験や発表、練習課題などを取り入れます。